

問1 継続的に物価が下がり続け、相対的にお金の価値が上がってしまう経済状態を何という？

1. デフレーション 2. スタグフレーション 3. ハイパーインフレ 4. インフレーション

問2 日本銀行が景気や物価を安定させるために、金利の調整などを行う経済上の取り組みを何という？

1. 財政政策 2. 金融政策 3. 公共政策 4. 産業政策

問3 円高になると、原材料や商品を海外から安く仕入れられるため、経営にプラスの恩恵がある企業を何という？

1. 輸入 2. 中継貿易 3. 輸出 4. 再輸出

問4 日本銀行が日本で唯一発行を許可されている、紙幣（日本銀行券）を発行する銀行としての役割を何という？

1. 発券銀行 2. 一般の銀行 3. 政府の銀行 4. 銀行の銀行

問5 民間銀行の経営が行き詰まった際、日本銀行が資金を貸し出すことで連鎖倒産を防ぐ役割を何という？

1. 中央銀行 2. 政策金融機関 3. 市中銀行 4. 最後の貸し手

問6 日本銀行が物価を安定させ、経済を円滑に動かすために、金利の操作などを行って調整することを何といいますか？

1. 労働政策 2. 金融政策 3. 教育政策 4. 財政政策

問7 銀行が預金を受け入れ、それを貸し出すことを繰り返すことで、社会全体で通貨の量が増える仕組みを何という？

1. 資産運用 2. 信用供与 3. 財政投融资 4. 信用創造

問8 円安になることで利益が増えやすくなる、海外へ製品を販売している企業を何という？

1. 輸入企業 2. 小売企業 3. 製造企業 4. 輸出企業

問9 景気の悪化やデフレからの脱却を目指し、市場への資金供給を増やす政策を行う中央銀行を何という？

1. 大蔵省 2. 財務省 3. 金融庁 4. 日本銀行

問10 日本銀行が景気調整のために市中銀行との間で行う、債券の売買による金融政策を何という？

1. 小切手 2. 手形 3. 社債 4. 国債

問11 景気が悪化している際に、日本銀行が国債を買い入れて市場に資金を供給することで下げようとするものは何？

1. 金利 2. 配当 3. 利潤 4. 賃金

問12 日本銀行がかつて金融政策の手段として用い、市中銀行への貸出金利の基準としていた金利を何という？

1. 公開市場操作 2. 預金準備率 3. 法定準備金 4. 公定歩合

問13 外国の通貨に対して、日本円の価値が相対的に上がることを何という？

1. 円高 2. 円安 3. 株高 4. 株安

問14 円安が進んだとき、海外での売上を日本円に換算した際の受け取り金額が増加し、利益を得やすくなるのはどのような企業ですか？

1. 輸出企業 2. 卸売業者 3. 小売店 4. 輸入企業

問15 円高によって収益が悪化しやすい、製品を海外へ売る産業を何という？

1. 輸入 2. 輸出 3. 投資 4. 消費

答え合わせ・解説

問1	答え 1 デフレーション	デフレーションでは、モノの価格が下がり続けるため、企業は売上が減少します。また、お金の価値が上が るため、消費者は将来の値下げを期待して買い控えを行い、さらなる不況を招く悪循環に陥りやすいのが特 徴です。
問2	答え 2 金融政策	日本銀行が行う金融政策は、民間銀行が日本銀行から借りる際の金利を調整したり、市場に出回るお金の量 を操作したりすることで、景気をコントロールします。金利を下げれば企業は投資しやすくなり、金利を上 げれば景気の過熱を抑える効果があります。
問3	答え 1 輸入	円高になると、海外の商品を少ない日本円で買うことができます。これにより、燃料費や原材料費のコスト が下がるため、輸入企業はコスト削減の恩恵を受けることができます。また、輸入品の価格が安くなれば、 家計にとっても生活費を抑えられる効果があります。
問4	答え 1 発券銀行	日本銀行は日本で唯一の「発券銀行」として、日本銀行券を製造・発行する権限を持っています。私たちの 手元にあるお札はすべて日本銀行から供給されており、信用ある通貨として全国で通用しています。
問5	答え 4 最後の貸し手	民間銀行同士でも資金の貸し借りができない異常事態において、日本銀行が資金を貸し出すことで破綻を回 避させます。これが「最後の貸し手」としての機能です。この存在があることで、預金者は安心して銀行に お金を預け続けられます。
問6	答え 2 金融政策	金融政策は、景気の加熱や不況に対処するための手段です。景気が良い時は金利を引き上げてお金の貸し出 しを抑制し、逆に不況の時は金利を引き下げてお金が回りやすいように調整します。この操作によって物価 を安定させ、経済が順調に発展するように支えています。
問7	答え 4 信用創造	銀行に預けられたお金の一部が借り手へ渡り、その借り手が別の銀行に預け、その銀行がまた貸し出す…と いう過程を繰り返すことで、元の現金以上の預金が生まれます。このように金融機関が預金を生み出すこと を信用創造と呼びます。
問8	答え 4 輸出企業	円安になると、海外で販売する製品を同じドル価格で売ったとしても、日本円に換算したときの売上高が増 えます。また、価格を下げて販売しやすくなるため売れ行きも良くなり、自動車や電機などの輸出企業にと っては追い風となります。
問9	答え 4 日本銀行	日本銀行は、日本で唯一の紙幣発行権を持つ「発券銀行」であり、「政府の銀行」として国庫金の出納を扱 い、「銀行の銀行」として一般の金融機関へ資金の貸し出しを行います。景気が悪い時は金利を下げるなど して、世の中に出回るお金の量を増やす政策を実施します。
問10	答え 4 国債	日本銀行が市中銀行から国債を買い入れると、銀行の資金が増えて市場のお金の流れが活発になります。逆 に、日本銀行が国債を売ると、市中銀行の資金が日本銀行へ移動し、市場のお金の量が減る仕組みです。
問11	答え 1 金利	日本銀行は国債を買い入れることで銀行の持つ資金を増やします。すると、銀行は貸し出すお金に余裕がで きるため、企業や個人へのお金の貸し出しを促進しようと金利を下げます。金利が下がると借金がしやす くなるため、投資や消費が活発になり景気の回復が期待されます。
問12	答え 4 公定歩合	日本銀行が公定歩合を引き下げると、銀行が日銀から資金を借りやすくなり、結果として銀行から企業や個 人への貸出金利も下がるため、世の中に出回るお金の量（マネーストック）が増加します。逆に引き上げ るとお金の流通量が減る仕組みです。
問13	答え 1 円高	円高とは、例えば「1ドル=100円」だったものが「1ドル=80円」になるような状態です。これは以前よ りも少ない円で外国の製品を購入できることを意味します。
問14	答え 1 輸出企業	円安になると、海外で商品を販売して得た外貨を日本円に替えた際、以前より多くの日本円を受け取るこ とができます。そのため、自動車メーカーや電機メーカーなど、海外での売上比率が高い輸出企業にとっ ては、業績が向上する追い風となります。
問15	答え 2 輸出	円高になると、海外で販売する製品の現地通貨建て価格を高く設定せざるを得ず、販売量が落ちるか、同じ 価格で売れば円換算の利益が減るという二重の苦しみを味わいます。これにより、輸出産業の収益は大きく 悪化しやすくなります。